



希望郷 いわて国体



千葉がイェンバン!

男女総合初優勝、女子総合は3年ぶり2度目V

千葉県が本領発揮！国体で初の男女総合優勝を遂げ、女子総合との2冠も達成しました。女子メンバーは全日本選手権でも女子総合を制したその実力で、成年女子団体戦(4人)の優勝を含め5種目中4種目で入賞を果たしました。成年男子も団体戦(2人)で優勝し、4人戦も入賞。総合を制すにふさわしく、男女とも好成績を残しました。若手でありながら実力派がそろった千葉県が、主役の座を射止めた、今年の国体でした。

成年女子団体戦
(4人チーム)
第1位

成年男子団体戦
(2人チーム)
第1位

JAPAN AIRLINES



JAL国内線
class J

ひとつ上の座り心地が、
次の仕事への気持ちを高める。

プラス1,000円で、ひとクラス上の快適を。

JAL国内線〈クラスJ〉

理想のくつろぎを実現するために設計されたクラスJシートが、さらに進化しました。

しっとりとなめらかな質感の本革シート。

ゆとりのシートピッチに、深いリクライニング感。

あなたに、心地よい空の旅をお届けします。



JALは、到着時間の正確性を評価する「定時到着率」において
2015年、主要3部門を制覇。5度目の世界一に認定されました。

航空券のご予約・ご購入、
ご搭乗手続きはこちらから www.jal.co.jp

写真はイメージです。実際の機内とは仕様が異なる場合がございます。



明日の空へ、日本の翼

国体・スポーツマスターズの ブロック割当案を審議

地区代表理事会議

から意見が寄せられました。
今年度新設された「公認競技場未来構想検討委員会」に
す。国体同様に競技委員会より
りブロック割当案が提示され、審議の結果最終案が決定しました。両大会のブロック割当案はこのあと協会の理事会に提出されます。

下地賀守監督のボウリングキャラバン

参加者募集中です

全日本ナショナルチームの下地賀守監督による出張レッスン「ボウリングキャラバン」。鳥取・広島・沖縄会場の参加申込を現在受付中です。下地監督の明るくわかりやすいアドバイスとナショナルチームメンバーのサポートで、上達のポイントを楽しく学べます。

▽沖縄会場

12月17日(土) エナジックボウル美浜 沖縄県中頭郡北谷町

申込締切は11月18日(金)です。(各会場定員50名になり次第締め切り)申込方法について詳細は協会ホームページ(www.jbc-bowling.or.jp)

スポーツくじ



この事業はスポーツ振興くじ(toto)の助成を受けて実施しています。

平成28年度地区代表理事会議が10月8日(土)に若手・ビッグハウスパーレーンで開催されました。次回国体、日本スポーツマスターズのブロック割当や、協会運営に関する議題を審議しました。

▽鳥取会場

12月10日(土) 鳥取スターボウル(鳥取県鳥取市)

▽広島会場

12月11日(日) 広島ボウル(広島県広島市)

協会曰井前副会長に 特別功労章を贈呈

今年6月の役員改選をも

つて勇退された曰井日出男前副会長(現顧問)に、協会の特別功労章の贈呈が行われま



贈呈式に臨んだ曰井前副会長

した。曰井氏は平成5年に協会理事、平成7年には副会長に就任され、11年間にわたって協会運営に携わりました。全日本実業団ボウリング連合会長、関東地区ボウリング連合会長、千葉県ボウリング連合会長を兼任し、衆議院議員として公務多忙の中、連合・連盟主催の各大会にも役員として積極的の来場。平成22年の千葉国体では、天皇皇后両陛下の行幸に際し説明役を務められました。永年のご功労に感謝申し上げます。

しいどの要望がありました。その他として、現在の協会財政状況について報告したうえ、今後の事業計画を説明しました。また協会規程の改定に関する審議、JBC公認第1種・第2種審判員資格試験の報告がおこなわれました。

能です。協会認定部の日坂義人ドリラーと棚橋孝太郎が講師を務めます。実技指導や実験、参加者によるディスカッションなどを採り入れた、ドリルのエキスパート養成講座となっています。

JBC公認ドリラー 有資格者研修会 「ブロンズコース」(広島)

JBC公認ドリラー有資格者研修会・ブロンズコース(広島会場)の参加申込を受付中です。

この研修会はJBC公認ドリラー有資格者の方が受講可

【実施概要】
平成29年(月)20日(月)・21日(火)
広島ボウル(広島県広島市)

受講料 30,000円(1日のみ受講は15,000円)
※詳細は郵送の案内をご覧ください。か、協会ホームページ(www.jbc-bowling.or.jp)で確認してください。

なお、11月14日(月)・15日(火)に予定しておりましたJBC公認ドリラー有資格者研修会(シルバーコース)は都合により中止となりました。

ポーランド代表を迎え49名で熱戦

第15回全日本視覚障害者選手権大会

第15回全日本視覚障害者選手権大会が10月1日(土)・2日(日)の両日、東京・シチズンボウル(公認No.113・113)で開催されました。日本選手は競技力向上を目的に強豪国のポーランドから6名の選手が招待され、総勢49名が出場しました。

視力により設定された3クラスに分かれ、男女混合の個人戦とダブルス戦、2種目の予選成績合計による個人総合成績の3種目を実施しました。



B2クラス比嘉一盛選手の力投

の競技にも関わらず実力を発揮し、金メダル3つを獲得。日本選手と個人戦の決勝トーナメントで競り合ったのをはじめ、各種目で盛んに競技交流しました。

大会は(一社)全日本視覚障害者ボウリング協会とJBCの共催で行われました。東京都ボウリング連盟の審判員40名が各ボクスの審判を務め、選手誘導をおこなう補助員として日本大学学生有志、日本体育大学在学高等学

校ボウリング部の総勢23名が協力しました。
【各種目優勝】
▽個人戦(決勝トーナメント)
B1 Z・コジイ(ポーランド)
B2 比嘉一盛(沖縄県)
B3 森澤重希子(東京都)
▽ダブルス戦(2×6G)
I組(B1選手を含む) 草野謙三/尾崎登志夫 1837
II組(B2選手) M・コントリモービッチ/J・ドゥテック 2142
▽個人総合成績(12G)
B1 高木綾子(東京都) 1716
B2 M・コントリモービッチ(ポーランド) 2266
B3 尾崎登志夫(福岡県) 2244

イベント カレンダー

11月&12月



出場選手とボランティアメンバー

▽11月3日(木・祝) 6日(日) 内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯第45回全国都道府県対抗選手権大会(第72回愛媛国体リハサル大会) 愛媛・キスケボウル
▽11月11日(金) 13日(日) 文部科学大臣杯第54回全日本大学選手権大会 神奈川・川崎グランドボウル
▽11月11日(金) 13日(日) ジュニアジャパン合宿 大阪・イニアボウル

熊本地震災害義援金
順不同・敬称略
2016年9・10月
日本スポーツマスターズ2016 8,963
第71回国民体育大会 5,229
第49回全日本新人選手権 17,031
合計 31,223
ご協力ありがとうございました。
お預かりした義援金は、熊本・大分両県のボウリング連盟へお渡します。
熊本県ボウリング連盟 500,000
大分県ボウリング連盟 250,000
送金額合計 750,000

平成28年度 各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	平成28年10月31日現在	
		登録数	公認件数
北海道地区	北海道	30	46
	青森	30	30
	岩手	21	30
	宮城	29	56
	秋田	8	11
東北地区	山形	21	42
	福島	19	18
	茨城	20	1
	栃木	9	32
	群馬	16	35
関東地区	埼玉	38	90
	千葉	17	8
	東京	37	16
	神奈川	30	47
	山梨	27	27
北信越地区	新潟	11	23
	長野	15	48
	富山	22	1
	石川	19	28
	福井	7	13
東海地区	岐阜	38	79
	愛知	58	148
	三重	36	65
	滋賀	17	31
	京都	34	81
関西地区	大阪	42	75
	兵庫	23	38
	奈良	23	28
	和歌山	14	9
	鳥取	15	8
中国地区	岡山	9	11
	広島	8	7
	山口	52	72
	徳島	14	9
	香川	14	19
四国地区	高松	15	21
	愛媛	9	22
	高知	8	1
	徳島	10	11
	福岡	29	63
九州・沖縄地区	佐賀	7	3
	長崎	19	28
	熊本	16	13
	大分	15	1
	宮崎	26	43
全日本学生連合	鹿児島	23	27
	沖縄	17	16
総計		21	5
総計		1,047	1,522
総計		287	

第7回 東日本シニア ボウリング競技大会

2016/11/18(金)～20(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 全国ボウリング公認競技場協議会
神奈川県ボウリング公認競技場協議会
協力 公益財団法人ミズノスポーツ振興財団
主管 神奈川県ボウリング連盟



川崎グランドボウル

〒210-0012 神奈川県川崎市川崎区宮前町11-14
TEL 044-244-2281 http://www.grandbowl.jp/kawasaki/

第7回 西日本シニア ボウリング競技大会

2016/11/18(金)～20(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 大阪府 大阪市 公益財団法人大阪体育協会 大阪市体育協会
全国ボウリング公認競技場協議会
大阪府ボウリング公認競技場協議会
協力 公益財団法人ミズノスポーツ振興財団
主管 大阪府ボウリング連盟



イーグルボウル

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-3-9
TEL 06-6394-3232 http://www.forjy.co.jp/eaglebowl/

岩手に39都道府県の精鋭が集結



いわて国体
マスコット
とふっち

希望郷 いわて 国体

第71回国民体育大会（希望郷いわて国体）ボウリング競技会が10月5日（水）から10日（月・祝）にかけて、盛岡市のビッグハウススーパーレーン（公競No.103・022）で開催された。厳しい予選を勝ち抜いた39都道府県、302名の選手が集結した。

全都道府県が目標とする総合優勝は、団体戦2種目を制した千葉県が初の男女総合優勝を果たした。女子総合も3年ぶりに頂点に返り咲き、完全制覇となった。

10月5日（水）15時30分から、岩手県立盛岡第四高等学校で「大会会長トロフィー返還式」が執り行われた。はじめに参加都道府県選手団を紹介し、前回の和歌山国体で男女総合優勝の愛知県より大会会長トロフィーが返還された。



大会会長トロフィー返還式

熊本地震義援金を贈呈

今年4月に発生した熊本地震について、協会は募金活動を実施。5月から9月にかけて集まった義援金の贈呈式が、大会会場で行われた。

市民ふれあいボウリング

国体ボウリング競技の開幕に先立ち、地元盛岡市民を迎えて「市民ふれあいボウリング」が行われた。事前の申込を受けた22名の市民を、岩手県代表選手や全日本ナショナルチームメンバーがサポートしながらゲームのプレーを楽しんだ。



トップ選手がゲスト参加

少年女子

予選前半は小坂梨聖（福岡）の63をトップに、600Pが4人並んだ。入賞圏外からのスタートとなった。

浦川落奈（鳥取）は後半、266・259・246と庄巻のスコアメイク。この種別のシリーズ記録を塗り替える71で一気にトップに躍り出た。

予選を終えて浦川は1334、2位の泉宗心音（愛媛）は1299差をつけられていたが、決勝1ゲーム目に243をマークして74ピンまで差を詰めた。しかしラスト2ゲームは爆発できず、前回覇者の大林令奈（岡山）も最終ゲームで257とし意地を見せたが、落ちていくスコアをまとめた浦川が大量リードのまま逃げ切った。

個人戦を制した浦川が、妹の莉音と組んで出場した鳥取は、予選前半で1221をマーク。決勝1ゲーム目、401の愛知が鳥取を逆転した。4ピンリードに変わった愛知は21ク。2位以下に62ピン差をつけての好発進となった。愛知（早川・水谷）は後半3ゲームとも400Pの好投で1278とし、入賞圏外から大きくジャンプアップ。1173にまとめた鳥取に20ピン差まで迫ってきた。

予選前半、上村弥斐（和歌村）が2位通過となった。上村はゲーム目に痛恨の163で、46ピンの差を作ってしまった。残る2ゲームで231・257と懸命に挽回した上村だったが、畑も244・249とし逆転を許さず。全日本中学チャンピオンの力量を発揮した畑が、国体初挑戦にして初優勝の快挙を遂げた。

山が713、原口優馬（長崎）704と好スタートを切った。663で3番手につけていた畑秀明（神奈川）は、後半も656をマーク。606に留まった上村は、1319で畑と同点。

順位によってレーン配当される決勝戦。シリーズローハイン差により畑が1位通過、上村が2位通過となった。上村はゲーム目に痛恨の163で、46ピンの差を作ってしまった。残る2ゲームで231・257と懸命に挽回した上村だったが、畑も244・249とし逆転を許さず。全日本中学チャンピオンの力量を発揮した畑が、国体初挑戦にして初優勝の快挙を遂げた。

【4・5面に続く】

少年女子個人戦

少年女子2人チーム戦

少年男子個人戦

少年男子2人チーム戦

2つの金メダル

第24回

アジア選手権大会



男子チーム戦 日本は満点の勝ちっぶり

第24回アジア選手権大会が9月18日(日)から28日(水)にかけて、中国香港で開催された。アジア24の国と地域が参加する中、日本は女子トリオ戦と男子チーム戦の2種目で優勝し「チームワークの日本」を印象づけた。男子オールイベントでは銀メダル(新畑雄飛)、男子マスターズ戦でも銅メダル(和田翔吾)の好成績を残した。【写真提供：アジアボウリング連盟】



入場行進する日本代表チーム

シングルス戦

ミディアムオイルコンディションで行われたシングルス。男女とも3つのグループに分かれて競技が行われた。女子は今井双葉(熊本)が246・250と最高のスタートを切った。とはいえ接戦で、3ゲーム目には逆転を許すも喰らいついでいき、最終ゲームで逆転。1ピン差ながら暫定首位につけた。

男子も、新畑雄飛(東京)が全ゲーム200を超える安定感を見せた。ラストは追いつ



ダブルス戦



日本勢は、シングルスと同グループで戦った人がある。ままペアを組んでダブルス戦に臨んだ。レーンコンディションはロングオイルで、シングルスからの切り替えが試される。

女子はトップがアベレージ220近いスコアを残す一

トリオ戦



トリオ戦とチーム戦は人数的にも、オイルパターンの面でも総合力が問われる。男子

は、ロングオイルの前3ゲームで2チームとも1900台をマーク。トップの韓国とは、伊吹太陽(滋賀)・和田翔吾(和歌山)・安里秀策(愛知)チームが45ピン差で、佐々木智之(神奈川)・新畑・宮澤拓哉(群馬)チームが53ピン差と、メダルが狙える位置につけていた。しかしミディアムオイルの後半戦は2チームとも苦戦して、6位と8位に終わってしまった。

女子は石本と泉宗心音(愛媛)・野島はるな(静岡)のトリオが2ゲーム目、野島が286、石本も256をマーク

チーム戦



チーム戦はトリオ同様、後半3ゲーム毎でオイルパターンを変えて競技を行う。女子はミディアムオイルの前半で6位と出遅れてしまう。後半のロングオイルは差を埋めようと健闘。最終ゲームには1075と伸ばすも、4位が

は、3ゲーム目でも1085とたたみかけて、前半首位でのターンの成功した。2位の韓国とは38ピン差。5人チーム戦では無いにも等しいリードで迎えた後半は、金メダルへの執念がスコアに表れた。前半戦でた1人マイナススコアに終わった佐々木が、借りを返すべくストライクを連発して299を決めた。今大会好調の新畑も佐々木に続いて、9連発の末278。1ゲーム目だけでリード

クして732。このビッグゲームを活かして1943とし、トップのフィリピンに17ピン差を肉薄し、絶好のポジションで折り返した。

後半戦は2グループのうち、先に競技をするようになった石本・泉宗・野島チーム。フィリピンは後に控えているため、プレッシャーをかけられるスコアを残しておきたいところ。まず1ゲーム

目、石本と泉宗がマイナスのピンチに、野島の266で619と粘った。2ゲーム目は我慢の展開となったが、石本が217としプラスをキープ。最終ゲームは泉宗が228と奮起して613。3人それぞれがチームの窮地を救う好プレーを見せて、暫定トップで結果を待った。

前半首位のフィリピンは大きく失速。代わって韓国が目、石本と泉宗がマイナスのピンチに、野島の266で619と粘った。2ゲーム目は我慢の展開となったが、石本が217としプラスをキープ。最終ゲームは泉宗が228と奮起して613。3人それぞれがチームの窮地を救う好プレーを見せて、暫定トップで結果を待った。



女子トリオ戦入賞チーム

値千金!

トリオ戦18年ぶりの金で存在を示した日本女子



オールイベント銀メダルの新畑



香港の2大巨頭とわたりあった

オールイベント

新畑のチーム戦での奮闘は、オールイベントでの逆転メダルにつながった。チーム戦の最終ゲームにも299をマークした新畑。1人で1469もの高得点をたたき出して金メダルの立役者となった。トリオ戦終了時点で3位と15ピンあった差を返しただけでなく、上位を固めていた地元香港勢の間に

ガイド
アジア選手権大会はアジアボウリング連盟(ABF)が主催する、アジア最強国を決める大会。2年に一度開催されている。種目は全て男女別で、シングル、ダブルス、トリオ、チーム(5人制)は人数×6ゲームのトーナルス

マスターズ戦

オールイベントの上位16名による総当たり戦をおこなうマスターズ戦。スコアの積み上げはもろんのこと、各ゲームの勝敗も大きく影響する。女子で唯一進出した石本は、いま一歩打ちきれない我慢のボウリングが続いて前半は15位。持ち味の堅実さを活かせるチャンスをつかめず、最終順位は12位だった。男子は上位が大混戦。和田が出た2ゲームで233・256をたたき出すと、そのまますべてボーナスポイントも味方につけた。5ゲーム目は299。パーフェクト達成者が出ない今大会において、日本勢3人目のセミパーフェクトとなった。

直後2ゲームでマイナスイタところへ、オールイベント金メダリストのM・マック(中国香港)に逆転されてしまが、最後に297で勝利して、2ピン差で首位を取り戻した。そして3位には佐々木も。要所でビッグゲームを決めてポイントを取り、最終ゲームの279+10で2位と36ピン差まで追った。香港の大エース・H・ウーは8戦全勝で、佐々木と12ピン差の4位につけた。後半に入っても接戦を繰り返して、トップ4の間に、10位で折り返したR・イスマイル(マレーシア)が割り込んできた。残り3ゲームの時点でウーがトップに立ち、マック、イスマイルと続き、佐々木と和田は4・5位まで順位を落としてしまった。しかしここから和田が奮起。220台を連発して連勝し、2位まで復活した。ボジションマツチの最終ゲームでは、1位のマックと直接対決して勝

利。イスマイルに逆転を許したが、3位でステップラダー進出を果たした。

イスマイルとの3位決定戦は両者ダブルのあと、スベアをひとつはさんでストライクを決めた。イスマイルは単発で終わったが、和田はここでダブルとして一歩リード。しかし直後に6本カウントからのオープンで、追う立場に転じてしまった。5ピンの差を埋めるにはストライクがほしい和田だったが、チャンスをつかめず198。ノーマスで203のイスマイルに敗れ3位が確定した。和田にとっては代表戦で初めての個人種目メダル獲得。日本勢としてはこの種目18年ぶりの表彰台となった。

第24回アジアボウリング選手権大会

2016.9.18-28

参加24の国と地域 200名(男子135・女子65)

中国香港・South China Athletic Association

《男子シングルス戦》6G ミニイタル
優勝 TIMMY TAN(マレーシア) 1,372
準優勝 ANNOP ARROMSARANON(タイ) 1,370
第3位 MICHAEL MAK(中国香港) 1,346
第5位 新畑 雄飛(日本・東京) 1,317
第14位 和田 翔吾(日本・和歌山) 1,270
第26位 安里 秀策(日本・愛知) 1,228
第38位 宮澤 哉(日本・群馬) 1,203
第40位 伊吹 太陽(日本・滋賀) 1,201
第44位 佐々木 智之(日本・神奈川) 1,190

《男子ダブルス戦》2×6G ロングオイル
優勝 中国香港 2,708
準優勝 マレーシア 2,676
第3位 マレーシア 2,660
第11位 日本(佐々木・宮澤) 2,517
第17位 日本(新畑・安里) 2,464
第21位 日本(伊吹・和田) 2,435

《男子トリオ戦》3×6G
優勝 中国香港 3,931
準優勝 タイ 3,900
第3位 大韓民国 3,876
第6位 日本(伊吹・和田・安里) 3,767
第8位 日本(佐々木・新畑・宮澤) 3,710

《男子5人チーム戦》5×6G
優勝 日本 6,634
(佐々木・新畑・宮澤・和田・安里)
準優勝 オーストラリア 6,329
第3位 マレーシア 6,275

《男子オールイベント》24G
第1位 MICHAEL MAK(中国香港) 5,378
第2位 新畑 雄飛(日本・東京) 5,301
第3位 WU SIU HONG(中国香港) 5,285
第9位 和田 翔吾(日本・和歌山) 5,126
第14位 佐々木 智之(日本・神奈川) 5,038
第21位 宮澤 哉(日本・群馬) 4,976
第30位 安里 秀策(日本・愛知) 4,890
第59位 伊吹 太陽(日本・滋賀) 4,689

《男子マスターズ》
準優勝 MICHAEL MAK(中国香港) 159+203=362
優勝 RAFIQ ISMAIL(マレーシア) 203
第3位 和田翔吾(日本) 198
197+214=411
第5位 佐々木 智之(日本・神奈川) 3,555(70)
第10位 新畑 雄飛(日本・東京) 3,432(80)

《女子シングルス戦》6G ミニイタル
優勝 JUNG DA WUN(大韓民国) 1,362
準優勝 BAEK SEUNG JA(大韓民国) 1,301
第3位 WANG YA-TING(中華台北) 1,298
第4位 今井 双葉(日本・熊本) 1,282
第8位 向谷 美咲(日本・千葉) 1,229
第10位 泉 宗心(日本・愛媛) 1,216
第13位 野川 ひかる(日本・岐阜) 1,199
第20位 石本 美来(日本・学連) 1,180
第26位 野島 はるな(日本・静岡) 1,162

《女子ダブルス戦》2×6G ロングオイル
優勝 マレーシア 2,637
準優勝 大韓民国 2,575
第3位 大韓民国 2,520
第12位 日本(向谷・石本) 2,398
第17位 日本(泉宗・竹川) 2,310
第23位 日本(今井・野島) 2,217

《女子トリオ戦》3×6G
優勝 日本(石本・泉宗・野島) 3,787
準優勝 大韓民国 3,743
第3位 マレーシア 3,731
第5位 日本(今井・竹川・向谷) 3,603

《女子5人チーム戦》5×6G
優勝 大韓民国 6,409
準優勝 マレーシア 6,366
第3位 シンガポール 6,108
第4位 日本 5,958
(石本・野島・今井・泉宗・竹川・向谷)

《女子オールイベント》24G
第1位 JUNG DA WUN(大韓民国) 5,323
第2位 BAEK SEUNG JA(大韓民国) 5,193
第3位 ESTHER CHEAH(マレーシア) 5,011
第4位 石本 美来(日本・学連) 5,010
第17位 竹川 ひかる(日本・岐阜) 4,833
第19位 野島 はるな(日本・静岡) 4,822
第21位 向谷 美咲(日本・千葉) 4,767
第31位 泉 宗心(日本・愛媛) 4,667
第35位 今井 双葉(日本・熊本) 4,623

《女子マスターズ》
準優勝 BAEK SEUNG JA(大韓民国) 170+194=364
優勝 JUNG DA WUN(大韓民国) 224
第3位 J. YEONG-NATHAN(マレーシア) 177
213+227=440
第12位 石本 美来(日本・学連) 3,293(50)



大会の締めくくりは和田の銅メダル



国旗を見守るマスターズメダリスト

TOP BOWLER

vol.110 最初から狙ってた

はた・ひであき 14歳 横浜市立市場中学校3年 今年7月、全日本中学選手権大会で優勝。予選トップ通過、決勝ではセミパーフェクトという完勝ぶりで一躍注目の的。中学王者の称号を手に挑戦したいわて国体でも、少年男子個人戦で優勝。初となる中学生によるジュニア個人タイトル2冠獲得を果たした。



まずは中学選手権。3年生で最後のチャンスでした。大会を自己採点するなら…? 「最初から優勝を狙っていました。今まで練習してきた成果を発揮することが出来たから、100点だったと思います。」国体は初挑戦での初優勝でした。1位タイで迎えた決勝戦の心境は? 「今まで経験してきたことのない大きな舞台だったし、相手は先輩たちだったので、とても緊張しました。」

畑選手は両手投げ。そのメリットとは? 「両手投げには強烈な回転数を生み出せるメリットがあると思います。(自分のボウリングの持ち味は)球の強いところです。誰にも負けない強い選手になりたいです。」

畑 秀明さん(神奈川県)

初タイトルをかけた激戦



(左から) 浦立、山本、竹野、大久保

第49回

全日本新人選手権大会

第49回全日本新人選手権大会が10月21日(金)から23日(日)にかけて、兵庫・神戸六甲ボウル(公競No.128-045)で開催されました。309名の選手が自身初となる全国大会の個人タイトル獲得を

目指して集まりました。

成年の部は大会記録にあとわずかに迫る好成績。男子は大久保雄矢(奈良)が、女子は竹野友梨子(学連)が優勝を果たしました。

少年男子は1ピン差の大接戦を山本智哉(広島)が制し、少年女子は中学2年生の浦立智香(熊本)が頂点に立ちました。

【詳細は次号】

大会・イベント情報

ワールドゲームズ2017

出場権を日本が獲得

来年7月にポーランド・ウロツワフで開催されるワールドゲームズ2017の出場権を日本が獲得しました。第24回アジア選手権大会がアジア予選と位置づけられ、各国オールエベント上位2名のスコア合計をもとに、上位5か国に出場権が与えられました。日本は男女とも3位に入り、10月12日付で世界ボウリング連盟(WB)より正式に出場権獲得が通知されました。

第52回

QubicaAMF

ワールドカップ

第52回QubicaAMFワールドカップ世界大会が10月14日(金)から23日(日)にかけて、中国・上海で開催されました。

9月に行われた国内決勝大会で優勝した、井口遼太選手

(東京・東亜学園高校/金目本ユースナショナルチームメンバー)と浦野美紅選手(千葉)が日本代表選手として出場。ともに10代で、出場中もつと若い世代の2名でしたが、浦野選手は予選第2ラウンド進出(トップ24)、井口

選手も81選手中31位と健闘しました。男子は地元中国代表のH・B・ワン選手が、女子はスウェーデン代表のJ・ウェグナー選手が優勝を果たしました。

【写真提供・野田博】

We are Team JAPAN

ナショナルチーム通信

井口 浦野 大健闘!



10代ながら好成績をおさめた井口(左)、浦野両選手



代表戦で大活躍の宮澤選手

第24回アジア選手権大会で、日本代表は金2個を含む4つのメダルを獲得。関東地区ボウリング連合(白井日出男会長)では、地区内の連盟に所属している金メダリスト

アジア大会金メダリストに 関東地区連合が褒賞金

ト3名に褒賞金を授与しました。対象となったのは、キャプテンの佐々木智之選手(神奈川県・湘南モノレール)と宮澤拓哉選手(群馬・上武大学)、新畑雄飛選手(東京・笹塚ボウル)。10月15日(日)に行われた第33回関東地区選手権大会の開会式にて、代表として宮澤選手に目録が授与されました。

ABS は JBC のオフィシャルサプライヤーです。

ナショナルメンバーのウエアはABSが提供させていただいています

新畑雄飛 選手

泉宗心音 選手



第49回全日本実業団ボウリング選手権大会

2016.11.25(金)▶27(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 全国ボウリング公認競技場協議会 東京ボウリング公認競技場協議会
主管 全日本実業団ボウリング連合 東京都ボウリング連盟



東大和グランドボウル

〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1-1330-19 BIGBOX東大和2F
TEL042-516-1556 FAX042-516-1557
http://www.grandbowl.jp/higashiyamato/